

## 教員活動状況報告書

提出日： 令和 6 年 2 月 26 日

所 属： 獣医学部 動物応用科学科

氏 名： 植竹 勝治 職位： 教授

役 職： 獣医学部長

## I ティーチング・ポートフォリオ

## 1. 教育の責任（教育活動の範囲）

（教育活動について何をやっているのか：役職担当・主要担当科目リスト（必修，選択）  
（受講者数）（学部向け，大学院向け）（學理データ活用）

教師として何に責任を負っているかを明確にし，自分が担当している授業科目に関して  
数行で説明する。（分量の目安：2～5行（80字～200字）（科目表以外））

※分量（字数）はあくまで目安ですので，超えても構いません。内容を優先して下さい。（以下同じ）

専門分野の知識の修得に限らず、大学卒業生として相応しいリテラシー及び社会人として  
必要なコンピテンシーを身につけることができるようにすることが教育の責任と考える。

科目名	学科・専攻	必，選， 自	配当年次	受講者数
動物管理学	動物応用科学科	選択	3	105
動物行動学	獣医学科	必修	3	134
動物行動管理学実習	動物応用科学科	選択	3	81
専門ゼミ	動物応用科学科	必修	3	8
卒業論文	動物応用科学科	必修	4	15
科学の伝達	動物応用科学科	選択	4	15
応用動物管理学特論Ⅰ	動物応用科学専攻	選択	1・2	14
応用動物管理学特論Ⅱ	動物応用科学専攻	選択	1・2	14
動物共生科学特別演習Ⅰ －Ⅰ	動物応用科学専攻	必修	1	7
動物共生科学特別演習Ⅰ －Ⅱ	動物応用科学専攻	必修	2	5
動物共生科学特別研究Ⅰ －Ⅰ	動物応用科学専攻	必修	1	7
動物共生科学特別研究Ⅰ －Ⅱ	動物応用科学専攻	必修	2	5

## 2. 教育の理念（育てたい学生像，あり方，信念）

1. で説明した教育面での責任を基にしながら自分の教育理念に基づいて自分の教育アプローチについてまとめる。（自分の教育アプローチの説明：なぜやっているのか，自らの信念，価値，目指すもの）（分量の目安：8～12行（320字～480字））

- ・自ら課題を見つける。
- ・課題に積極果敢に取り組む。
- ・動物の行動特性や基本的ニーズについて正しく知る。
- ・フィールドワークを大切にする。
- ・実利を常に意識する。
- ・経験を通じて成長する。

## 3. 教育の方法（理念を実現するための考え方，方法）

教育の目的と目標（これまでの教育経験においていつも行っていること。重要視していること。自分の教育を特徴づける方法）（分量の目安：15～24行（600字～960字））

- ・授業振り返り小テスト（複数回）の実施
- ・ライブと遠隔授業の併用
- ・オンデマンド教材の活用
- ・実用的教材（図説）の配布
- ・メール等による学生からの問い合わせ随時受付のアナウンス
- ・居室ドアの開放
- ・学位論文の冊子及び電子ファイルの公開

### アクティブラーニングについての取組

- ・グループワークの活用
- ・多人数討論の取り入れ
- ・レポート内容の口頭発表・質疑（ディベート）
- ・卒論発表と質疑応答

### ICTの教育への活用

- ・E-ラーニングの活用
- ・公開されている専門分野に係る動画ファイルの活用
- ・学理やAzamoodle等のLMS（学習支援システム）を利用した学生とのやり取り

## 4. 教育方法の改善の取組（授業改善の活動）（分量の目安：15～24行（600字～960字））

現在の授業実践・教授手法をどのように改善していますか。

(①から⑤まで個別に記載又は①から⑤までまとめて記載ください)

- ①教育（授業，実習）の創意工夫（A～C） B
- ②学生の理解度の把握（A～C） B
- ③学生の自学自習を促すための工夫（A～C） B
- ④学生とのコミュニケーション(質問への対応等)（A～C） B
- ⑤双方向授業への工夫（A～C） B

遠隔授業では学生の理解度や課外での自習状況の把握が難しいため、どのようにしたら上手く行くか、引き続き検討していく。

※A（十分実施している） B（実施しているが十分でない） C（うまく取り組めていない）

⑥国家試験対策としてどのような取組をしましたか。（V 学科， M 学科の教員の方のみ記載してください。）

#### 5.学生授業評価（分量の目安：4～7行（160字～280字））

①授業評価の結果をどのように授業に反映させましたか。

- ・第1回目の授業時にコメントに対する回答を口頭で伝えた。
- ・授業評価のコメントや要望に基づいて授業の進め方を工夫した。

②①の結果はどうでしたか。

- ・全体的には特に学生から反応なし（一部学生より高評価のコメントがあったが）

③②を踏まえて次年度はどのように取組みますか。

- ・今年度同様、コメントに対して真摯に対応（回答）する。

#### 6.学生の学修成果（分量の目安：4～7行（160字～280字））

①学生の成績向上に資する取組を何か考えていますか。

（参考となる取組については、学内で共有させていただく予定です。）

- ・授業の復習を促すために、授業振り返り小テストを定期的実施する。

②教育活動によって得られた学生の成果及び学生・第三者からの評価

- ・今年度は授業振り返り小テストの成績が良好であった。

**7. 指導力向上のための取組（FD研究会参加状況）（分量の目安：1～2行（40字～80字））**

- ・大学主催のFD研修会には毎回参加

**8. 今後の目標（理念の実現に向かう今後のマイルストーン）**

教育活動に関する今後の目標を記載してください。短期的な目標と長期的な目標を分けて記載してもかまいません。（分量の目安：3～6行（120字～240字））

- ・PBLに取り組む。
- ・卒業研究の内容について学生に（全員でなくても）学外で発表する機会を設ける。
- ・関連分野への就職率を上げる。
- ・卒業後も大学や研究室と関係を持てるようにする。

**9. 添付資料（根拠資料）（※）資料名のみ**

※資料については非公開扱いのものもありますので、資料名のみを記載してください。

- ・シラバス
- ・履修ガイド
- ・ゼミ資料
- ・学会等のプログラム及び講演要旨集